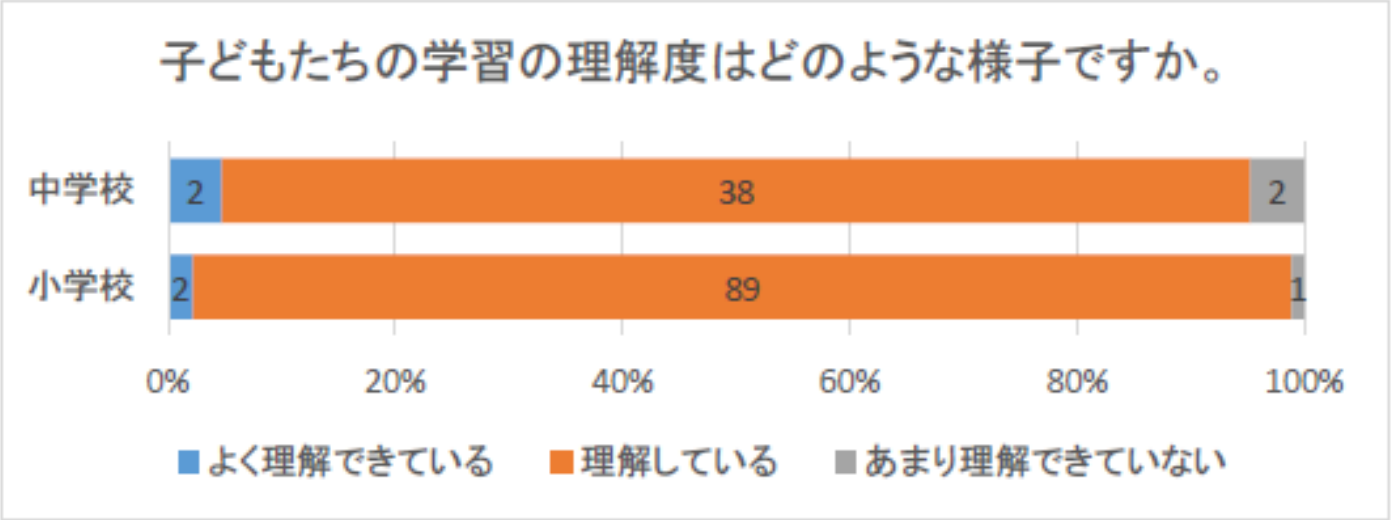
児童生徒の現況報告

指導課

1　現在、子どもたちの学習の理解度はどのような様子ですか。

	小学校	中学校
よく理解できている	2	2
理解している	89	38
あまり理解できていない	1	2
	92	42

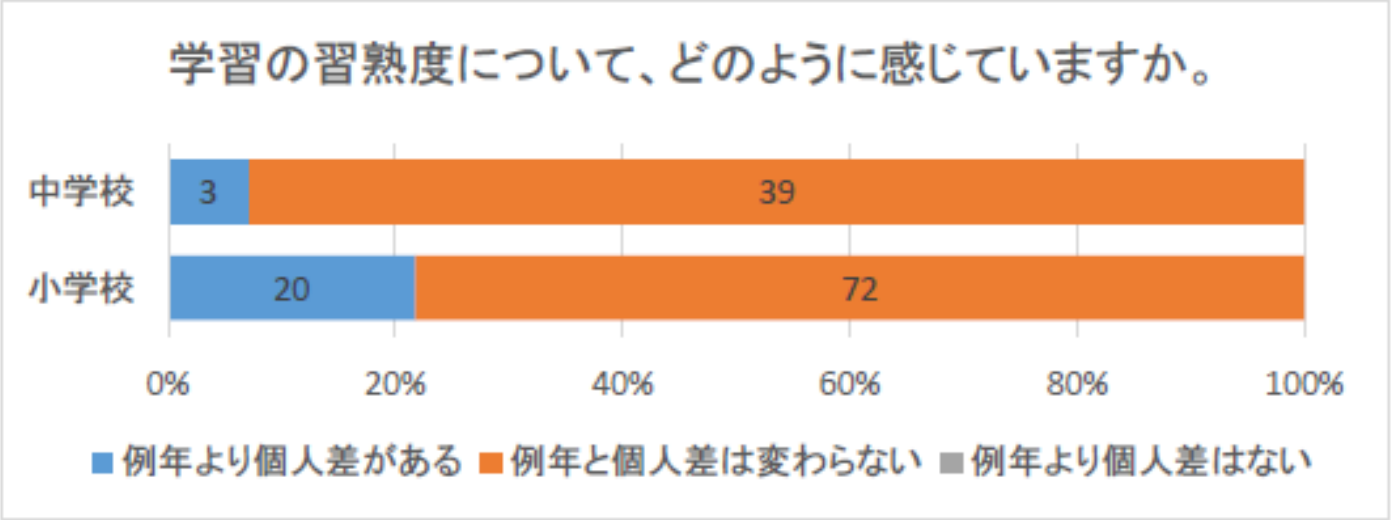
教職員から見て、児童生徒が「理解している」または「よく理解している」と回答した学校が95%以上であった。



2　子どもたちの学習の習熟度について、どのように感じていますか。

	小学校	中学校
例年より個人差がある	20	3
例年と個人差は変わらな	72	39
例年より個人差はない	0	0
	92	42

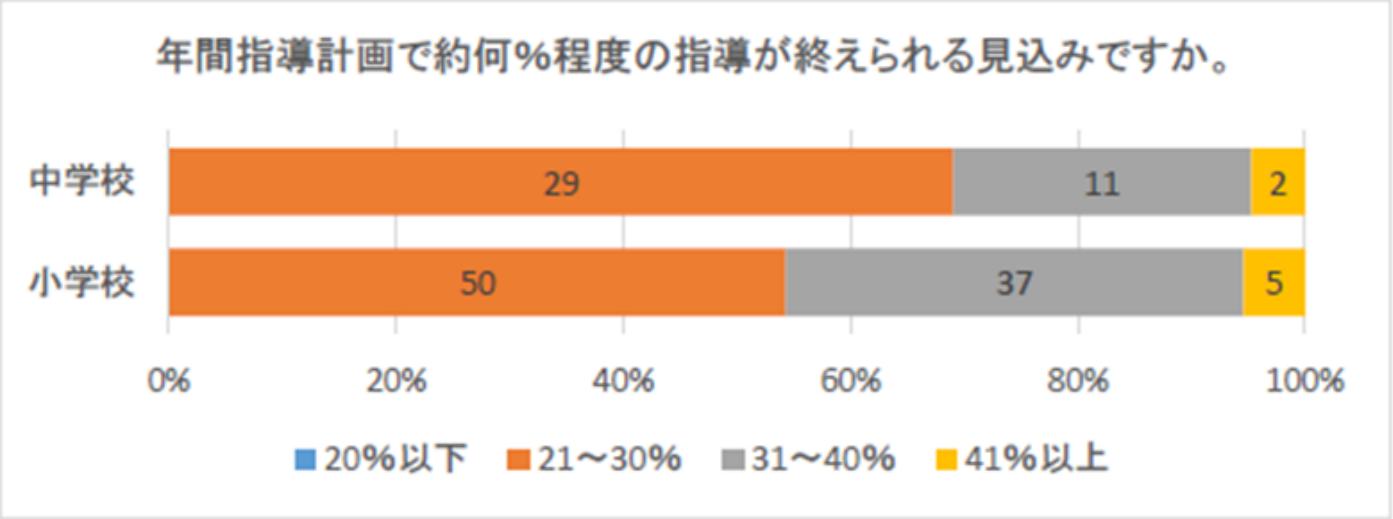
教職員から見て、児童生徒の習熟度については、中学校に比べ小学校の方が例年より個人差があると回答している。



３　1学期末（7/31）の時点で、今年度の各学校の年間指導計画で約何%程度の指導が終えられる見込みですか。

	小学校	中学校
20%以下	0	0
21～30%	50	29
31～40%	37	11
41%以上	5	2
	92	42

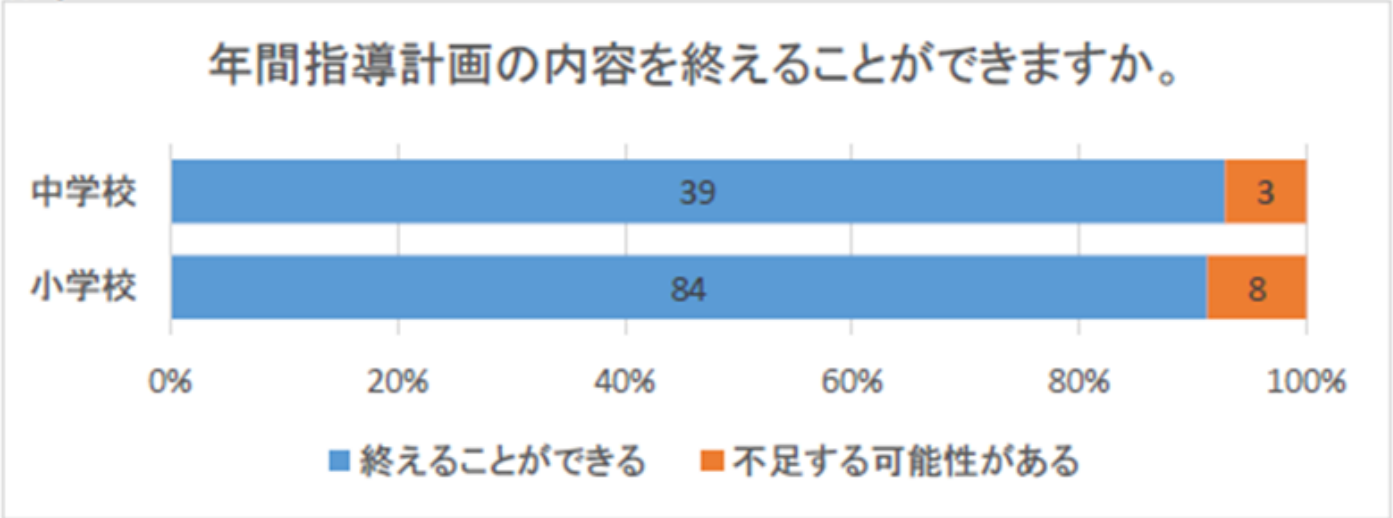
すべての小中学校が、1学期末時点で年間指導計画の約20%以上を終えると見込んでいる。



４　今年度の年間指導計画の内容を終えることができますか。

	小学校	中学校
終えることができる	84	39
不足する可能性がある	8	3
	92	42

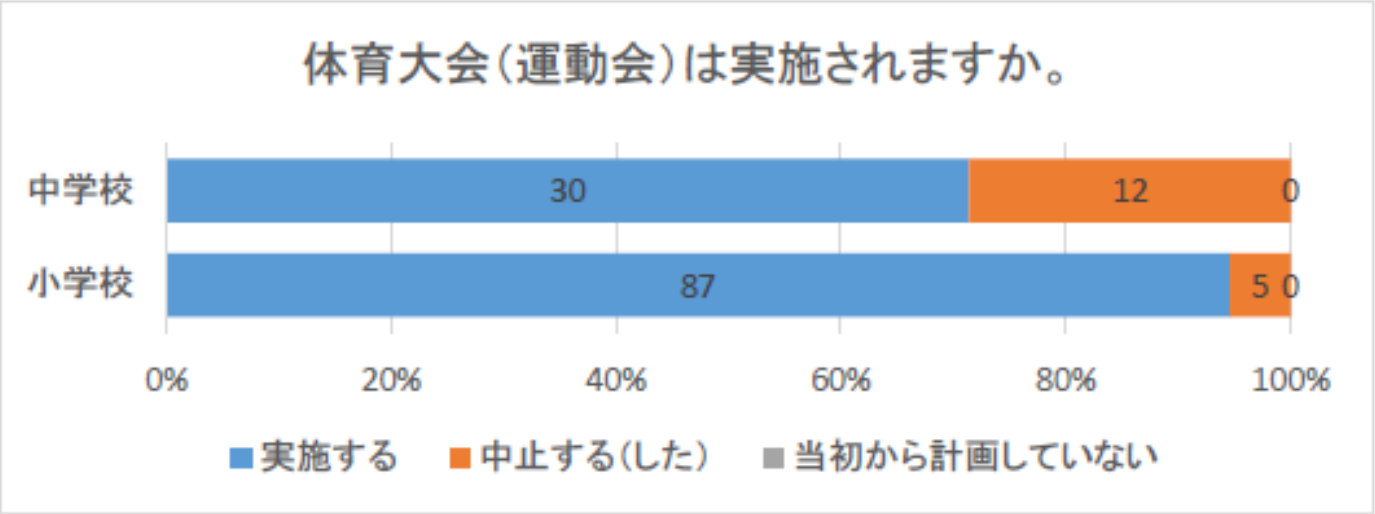
年間指導計画の内容を終えるのに、「不足する可能性がある」と回答した学校は、「今後の感染状況が不安なため」との理由である。



5　体育大会（運動会）は実施されますか。

	小学校	中学校
実施する	87	30
中止する（した）	5	12
当初から計画していない	0	0
	92	42

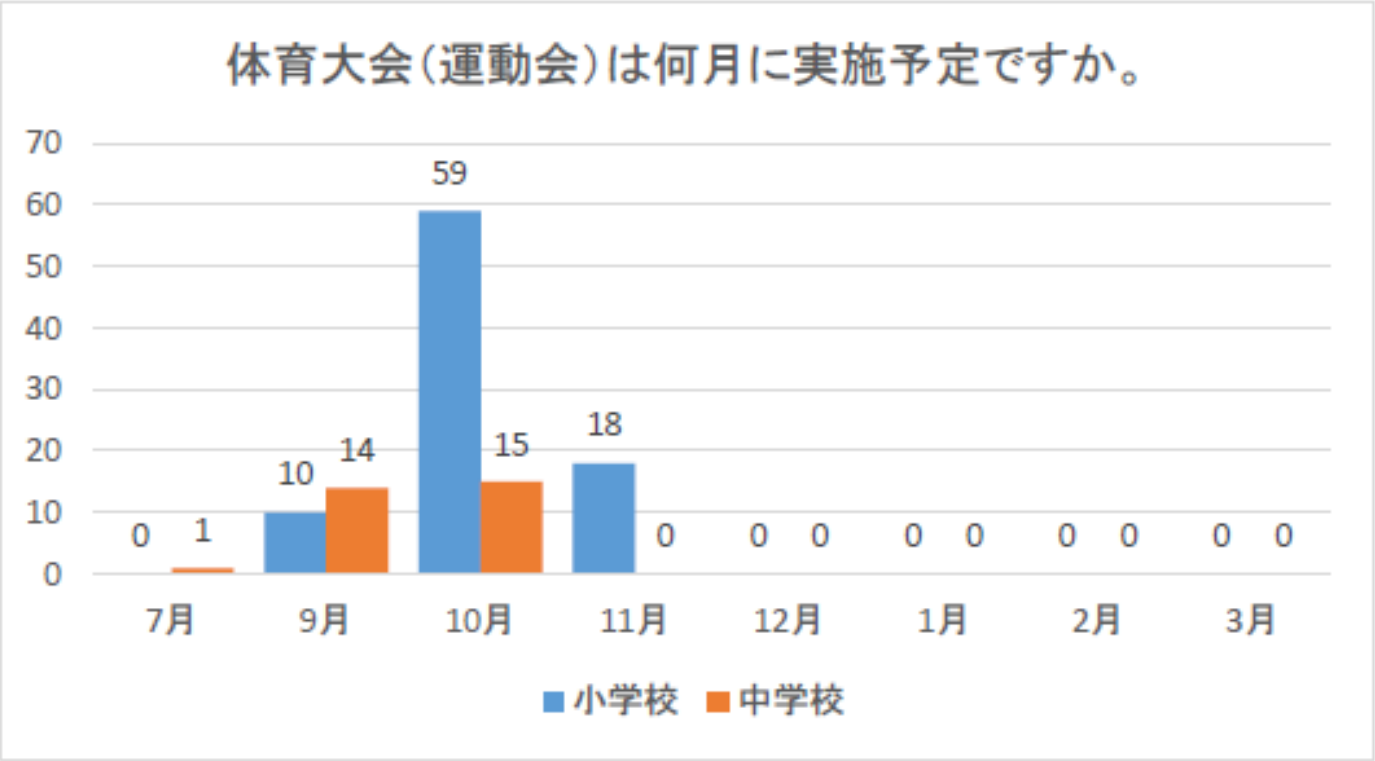
「中止する（した）」と回答した学校は、「学年ごとに分けて実施する」や「クラスマッチ形式で実施する」など工夫している。



6　体育大会（運動会）は何月に実施予定ですか。

	小学校	中学校
7月	0	1
9月	10	14
10月	59	15
11月	18	0
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
	87	30

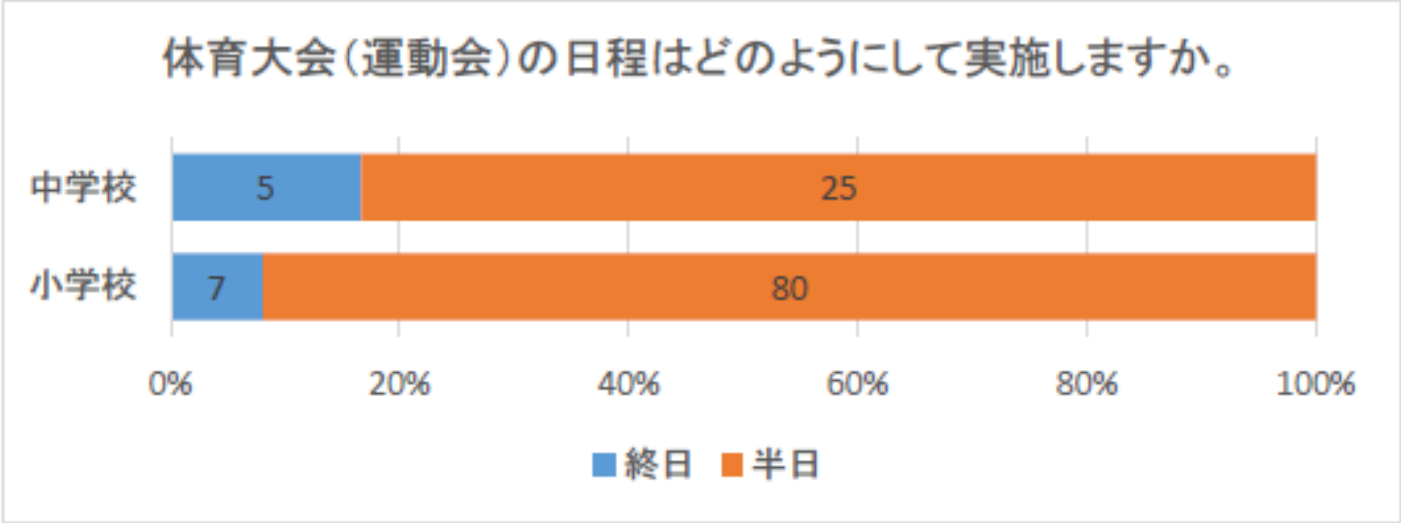
小学校は10月・11月、中学校は9月・10月に実施する学校が多い。



7　体育大会（運動会）の日程はどのようにして実施しますか。

	小学校	中学校
終日	7	5
半日	80	25
	87	30

体育大会（運動会）を半日で実施する学校が多い。終日実施する学校も学年ごとに時間を分けるなどの工夫が見られる。



8　中学３年生の夏季休業中の臨時登校日の実施状況について

状　況	学校数	対　応　の　内　容
実施する	３２校	・３～４日間の臨時登校日を設ける学校が多い。 ・１２～１５時間授業を行う学校が最も多い。
実施しない	１０校	希望者を集めて行う学習会や個別対応の補習学習を行うなど、各学校の実態に応じた学習指導を行う。

９　個別の学習指導について

個別の学習指導に関する質問	小学校	中学校
放課後の時間を活用して個別の学習指導をしている。	約７５％	約７４％
夏休みに宿題のチェックや補習のための学習指導を計画する。	約６３％	約８５％

すべての小中学校で、放課後や夏休みの時間を活用した個別の学習指導を行っている（予定である）。補習プリントや補助教材、タブレットを使った学習指導を実施している。

１０　学習指導員の配置状況（７月２７日現在）

（１）配置状況　　小学校　９２校中８８校　　中学校　４２校中４１校

（２）学習指導員　総数４０１人

内訳：会計年度職員６３人、退職教員１０１人、大学生１０６人、大学院生１８人

その他（地域の方々など）１１３人

年度当初の行事を見直された行事は何ですか。　　資料1

〇小学校92校　　〇中学校43校

行事	校数	行事	校数
学習発表会	37	文化・学習発表会	24
授業参観	27	合唱コンクール	17
音楽会	23	集団宿泊	15
学級懇談会	18	ナイストライ	9
家庭訪問	17	土曜授業	8
土曜授業	17	家庭訪問	8
集団宿泊	16	入学式	8
入学式	12	授業参観	7
歓迎会・遠足	10	強歩会・駅伝・持久走	7
引き渡し訓練	10	PTA総会	7
避難・防災訓練	5	部活動総会	5
PTA総会	5	始業式	4
PTA行事	5	学級懇談会	3
始業式	4	親子進路学習会	3
見学旅行	3	終業式	3
終業式	3	PTA行事	3
餅つき	3	対面式・部活動紹介	3
芸術鑑賞会	3	定期テスト	3
集会全般	3	薬物乱用防止教室	2
修学旅行	2	講演会	2
水泳大会	2	教育相談	2
地域交流行事	2	交通安全教室	2
児童集会	1	スポーツテスト	2
研究発表会	1	生徒総会	2
スポーツテスト	1	百人一首大会	2
プール掃除	1	校外学習	1
地区懇談会	1	小中連携	1
歯科検診	1	内科検診等	1
耳鼻科検診	1	修学旅行	1
愛好作業	1	体験学習	1
ふれあい給食	1	地区懇談会	1
校内造形展	1	スケッチ大会	1
外部招待・訪問	1	7時間授業の実施	1
学校評議員会	1	芸術鑑賞会	1
幼保小中連携	1	小中一貫歓迎行事	1
記念式典	1	写生大会	1
支援学校との交流集会	1	職業講話	1
ドッジボール大会	1	学校保健委員会	1
持久走大会	1	農業体験学習	1
環境学習会	1		1
田植え	1		1
ふるさと祭り	1		1

校種	＜授業以外で、個別の学習保障に取り組まれたことや今後取り組まれることについて＞ 〇その他、各学校で取り組まれている個別の学習支援についてお書きください。
小学校	タブレットによるドリルパークでの学習。
小学校	朝自習や昼休みの時間を利用し、宿題を徹底させるようにしている。
小学校	・午前中のみの登校児童に、週一回程度Zoomによる学習を午後に行っている（特別支援学級） ・学習指導員による支援
小学校	昼休みに個別指導を行っている。プリントを解くためのヒントカードを準備して指導している。
小学校	２学期から週１回、放課後に学習指導員と連携し学習保障を行っていく予定である。
小学校	・各学級に在籍する学習支援を要する児童を、夏休みに個別に登校させて学習指導を行う。 ・学びたいむを夏休みに実施し、個別指導やタブレットを使った指導を行う。 ・学習支援員による個別の学習支援を行い、授業や学びたいむでの活用を図る。
小学校	休み時間などを使って個別指導を行ったり、授業の中で、学習形態を工夫したり、子供同士で教え合うような活動を取り入れたりしながら、個に応じた学びができるようにしている。 ドリルパークの時間をつくったり、算数では少人数指導を行ったりしながら、全体の中でも個の学びが充実するよう気を付けている。
小学校	・各家庭の端末を用いてロイロノートで学校生活や授業の様子を保護者に伝えたり、補充学習や宿題の双方向のやり取りをしたりしている。
小学校	昼休み時間等を使って、個別に授業の復習等を行っている。
小学校	登校後の朝の時間や、朝自習を活用している。 子どもと話し合い、個に応じた課題を出す。
小学校	１学期に児童全員に担任と面談する機会を設定し、その際、学習に対するつまずきや苦手意識等も聞いていった。
小学校	・放課後の個別学習
小学校	８月２５日から２８日までの４日間、全学年で希望者を募って補習をを実施する。現在約半数程度の児童が申し込みをしている。
小学校	学習指導員さん2名に、すでに実働していただいている。大変助かっている。
小学校	・今後palstepを活用し，個別の学習支援を行っていく予定。
小学校	・放課後や休み時間の隙間時間を見つけて指導を行っている。 ・夏休みに個別の学習指導を行う予定である。
小学校	・不登校児童へのタブレットによる個別指導 ・学びタイム（「れんこんタイム」）における個別指導
小学校	不登校児童へのタブレット端末の貸し出しによる健康観察や課題の提示と回収等の交流活動
小学校	〇昼休みに個別の学習指導を行っている。（宿題や授業中の課題のやり直し） 〇指導課から配置があった学習指導員に、丁寧に宿題を見て指導してもらっている。大変ありがたい。
小学校	本校の放課後学習教室「寺子屋」は指導に協力してくださる民生児童委員の方々の意見を尊重しながら、再開時のタイミングを考えているところ。
小学校	7月27日～7月30日までの4日間、「個別指導週間」と位置づけ各学級個別指導を行った。
小学校	学級・学年単位で、適宜に放課後を使って個別支援を行っている。 ２学期から学びタイムを実施する。

小学校	・夏休みに入ってすぐに個別面談（保護者）を行い、子どもの個々の課題を家庭と共有して家庭学習や、担任との個別学習につなげたりする。 ・地域の方の協力を得て、夏休みに学びの場を設けた。（学びタイム・個別指導）
小学校	教室へ足が向かない児童に対して、別室において、個別に学習を行っている。
小学校	・8/24～8/28（5日間）「夏休みサマースクール」9：00～10：00　主に6年生の児童対象（希望者）開催予定　学びたいむサポーターの大学生による補充学習。 ・第2波を想定して、1学期末に全家庭にオンライン授業へ向けてのインターネット環境調査を実施。夏休み期間中に、時間設定をして、テスト配信をする予定。
小学校	・定期的（およそ月１回）に校内支援委員会を開催し、個別の学習支援が必要な児童について話し合い、担当による支援配置計画に基づき、全職員で学習支援にあたっている。
小学校	各担任が個別支援が必要な児童に対して、保護者の承諾のもとで、学校での宿題指導を計画している。
小学校	理解が遅れている児童に対しては、放課後等に個別支援を行っている。夏季休業中には学習会も計画している。 また、学習指導員の配置があったことで、理解の遅れている児童への個別支援の幅が広がった。
小学校	学習指導員や学びたいむ指導員を活用した個別指導
小学校	学習の遅れが見られる児童に対して、プリント等で復習をしている。
小学校	7月に県外からの転入が7人あり、本校より学習が遅れていたり、未習だったりしたため、放課後に教科書を使って、担任や担任外にも協力してもらい個別指導を行った。
小学校	毎週水曜日の放課後の時間に、タブレット等を使った個別学習を継続的に実施
小学校	「学びたいむ」の時間を活用しての個別の学習支援
小学校	〇休み時間にテストのやり直しを行っている。 〇遅れがちな児童への補習
小学校	ロイロノートによる課題の提出及び個別の指導。 学習が遅れている児童へのZoomによる指導。
小学校	〇Ｔ２による同教室内での個別支援 〇不登校児童へのタブレットの貸し出し
小学校	不登校気味の子どもへのタブレットの貸し出し その子にあわせてのＺＯＯＭでの授業 ｐａｌｓｔｅｐの活用
小学校	学習指導員の活用で、個別指導や授業中の支援ができている。
小学校	１５分ほど、残して個別指導をしたいと思います。
小学校	通常行っているような昼休みや放課後を使った個別指導。学びたいむ教室。
小学校	放課後、週に２回希望者を対象に学びタイムを行っている。
小学校	・4月、５月分の学習内容を個別にもう少し定着させるために、時間をかけて指導を行う。 ・感染防止のため時間をかけて行事を見直し、もう少し押さえ内容を洗い出している。
小学校	タブレットが全員分そろえば、家庭学習等でタブレットを利用して、個に応じた家庭学習の指導を行うことができると考える。

小学校	学習指導員を含めた複数体制の授業をする。 「学びタイム」（夏休みも実施）での支援を行う。
小学校	・昼休みや、休み時間に質問を受け付けている。 ・児童全員に教育相談を実施し、学習面や生活面などで悩みを聞いたり、アドバイスをしている。 ・授業進度に合わせた宿題を出して補充学習を行っている。 ・2学期から「学びタイム」を設定し、3年生以上の希望者に補充学習を行う予定である。
小学校	・学習指導員が３名入られたことで、他職員が支援が必要とされる児童に対し取り出しで個別指導ができている。
小学校	学習の習得が遅れている児童には、教育相談を通じて保護者に声をかけて、夏休み期間中に個別の学習支援を行う。また、学習の内容に応じて、学年の担任や学習支援員とチームを作り、複数人で学習支援を行う。
小学校	・宿題や自由学習などの家庭学習の工夫 ・学習指導員による個別支援
中学校	夏休み学習会や放課後学習会
中学校	夏季休業中の臨時登校日に学習指導員を充てて支援を行う。
中学校	不登校生徒へのタブレットを活用した学力保障の取り組み 夏休み中に３年生全員を中心にタブレットを貸し出し、Ｑｕｂｅｎａやドリルパークを活用した自学自習の力をつけるための取り組み 夏休み中の「学びたいむ」の活用
中学校	・遠隔授業 ・ロイロによる課題
中学校	学習指導員を活用して放課後の補修を計画的に行っていく予定である。
中学校	不登校生徒へのロイロノートを使っての課題提出、教室に入れない生徒への別室での指導など。
中学校	不登校生徒へのタブレットを活用した学習課題の提示。 不登校生徒に対して、授業進度を伝え、ノートの写しやワークシート等を使って学習内容の確認を行っている。
中学校	夏休み中、3年生でキュビナを用いた学習を考えている。
中学校	アフタースクール（放課後学習教室）との名称で、退職された校長先生方6名に毎週2回、放課後45分間ずつ希望する生徒の自主学習を支援していただいている。※2019年度より熊本市子ども政策課の事業として行っている。 　〇〇塾との名称で、週2回45分ずつ、希望する生徒の自主学習の支援を部活動の担当がない教職員で行っている。
中学校	タブレット（ミライシード）を活用した個別学習 キュビナ（３年生数学）
中学校	夏休みの第一週に全学年で三者教育相談を実施する。その際、臨時登校日が設定されている３年生以外の学年でも補習の期間を設定するので、個別に保護者へ案内する予定。
中学校	市教委から通知いただいた「パルステップ」（該当生徒対象）や「キュビナ」（３年生対象）に取組む。
中学校	夏休みの前半と後半に児童生徒に対して学習会を実施し、夏休みの宿題の進捗状況を確認し、児童生徒が理解していないところや学習していない単元等がある場合は、個別に学習の支援をしていく。
中学校	対応は学年によって異なりますが、学習の厳しい生徒や課題が終わらない生徒は夏休みの個別学習に声をかける予定です。

中学校	メタモジを利用した解説動画の作成。昼休みを使っての個別学習、再テストや補講。
中学校	・学習会や自主学習の場を設け、職員の見回りと教師への質問 ・集団が苦手で教室へ入れない生徒への別室指導
中学校	3年生はキュビナを用いた数学の学習のため、全生徒にタブレットを夏休み配付。その中に、文科省から届いた国数英の補充学習データも保存し、夏休みの課題として活用。不登校生の中には、継続してタブレットでドリルパークを用いて学習している生徒もおり、今回募集のあったパルステップとともに活用させる。
中学校	・学びノートを用いた基礎学力の養成　・昼休みに教室で学習している生徒へのアドバイス　・短時間でできる問題数の少ないプリント(特別支援学級)　・学校に来れない生徒へ生徒のノートを写してロイロノートで発信している。　・教室に入れない生徒のドリルパークを用いた学習
中学校	・学年で希望者参加による学習会を設定している。 ・宿題指導。授業中に（タブレット）ロイロノートを積極的に使い、個別の学習に活用している。 ・夏休み中に学年で個別指導が必要な生徒に学習会を開いている。

総合支援課

臨時休校中及び学校再開後の児童生徒の状況調査結果　（令和2年7月22日集計）

	設問① 臨時休校中に、昨年度不登校であった児童生徒で、オンラインによる健康観察や課題のやり取りができた児童生徒は何人いましたか。		設問② 臨時休校中に、昨年度不登校であった児童生徒で、オンラインによる授業に入ることができた児童生徒は何人いましたか。		設問③ 学校再開後、昨年度不登校であった児童生徒で登校できた生徒は何人いますか。		設問④ 学校再開後、6月の1ヶ月間で、かぜ等の体調不良の理由で「出席停止」扱いとした児童生徒は何人（実人数）いましたか。		設問⑤ ゲーム依存が原因と考えられる児童生徒で、登校できていない児童生徒は何人いますか。	
小学校	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
	154	49.0	108	34.4	130	41.4	3366	8.3	16	0.4
中学校	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
	417	57.4	288	39.7	227	31.3	1164	6.1	85	4.4
備考	※設問①～③の割合計算の分母は、小学校は昨年度の小学1年～5年の不登校児童数（314人）、中学校は昨年度の小学6年・中学1年・中学2年の不登校児童生徒数（726人）としている。 ※設問④・⑤の割合計算の分母は、小学校は今年度の小学校全児童数（40，704人）、中学校は中学校全生徒数（19，044人）である。									